

## 堺市役所へ行く

40 数年ぶりに堺市役所へ行った。大阪市大の大学院生のとき、堺泉北コンビナート調査や市政研究のために何回か訪ねたことがある。大阪市周辺「市役所調査」をはじめつつあり、東大阪市に次いで 2 回目だ。

写真は南海高野線「堺東駅」近くにある堺市役所。左が本庁舎、右が高層階。本庁舎には堺区役所があり、多くの区民が訪れていた。まず高層階 3 階の「市政情報センター」に行った。あまり大きくないが、市政関係資料が最近まで整理されていた。とくに大阪市役所と比べて、有償刊行物コーナーに多くの資料が並んでいた。大阪市役所の有償刊行物コーナーが貧弱なので、その差に注目した。さっそく目ぼしい資料を購入した。



棚に並んだ資料をチェック、コピーしてから、高層階 21 階の展望ロビーに行った。地上 80m の回廊式ロビーであり、観光情報コーナーと喫茶コーナーがあった。観光客や市民が訪れていた。観光ボランティアの人が、古墳や街並みを熱心に案内していた。東大阪市役所の展望ロビーにも行ったが、堺の方が眺望はいい。何ととっても古墳群が上から眺められる。

遠くに、臨海コンビナートや大和川に続く大阪湾岸も見えた。あべのハルカスや大阪市立大の学術総合情報センターも見ることができた。いつもはセンターの屋上庭園から堺の方を眺めるが、今回は堺の方から眺めた。古墳群の写真を撮ったが、うまく入らないので、壁面に掲げられていた写真の「百舌鳥古墳群」を掲載しておきたい。



堺は歴史ある街だ。中世の南蛮貿易以来、良港として世界に知られた。「自治都市・堺」や廃藩置県で誕生した「堺県」の歩みはじつに興味深い。じっくり調べてみたい。

堺市は 80 万人を超える大都市であり、2006 年 4 月 1 日に政令指定都市に移行した。市役所を訪ね、指定都市としての「風格」のようなものを感じた。指定都市・大阪市を廃止する「都」構想なるものにより、堺市が今後どうなるかに注目したい。堺の歴史に思いをはせながら、市役所をあとにした。

(2019 年 9 月 2 日)